

# 志望理由書を書く

## ●志望理由書の例

「法学部」を志望する理由(「アドミッションポリシーの趣旨(学生募集要項 アドミッション・ポリシーを参照)に照らして見た自己の適性と抱負を具体的に詳しく記述してください。)

(アドミッション・ポリシーの例)九州大学法学部のHPより

求める学生像(求める能力・適性等)

本学部を志望する学生には、法学・政治学を専門的に学ぶための前提として、現代社会の諸問題への関心はもとより、歴史・科学・文化・外国語などの基礎教養に裏打ちされた広い視野をもって勉学に取り組む意欲、自己の問題関心に即して主体的に学ぶ姿勢を期待しています。具体的には、

- 1 歴史や社会問題に関心を持ち、解決すべき課題を自分で発見する力
- 2 必要な情報を各方面から収集する技能
- 3 情報の分析・加工を通じて自分なりの視点・意見を作り上げようとする意欲
- 4 それを他者の前でわかりやすく、論理的・説得的に説明する力
- 5 他者との議論を通じて意見や価値観の多様性を学び、自己反省の機会を持つて柔軟に修正案・改善案を見つける姿勢
- 6 法的知識と語学力を身に着けてグローバルな舞台で活躍しようとする意欲

の6つです。本学部は、みなさんの持つこれらの潜在能力を伸ばし、将来への確かな地歩を築く場を提供します。

(解答例)

私は高校時代、各種行事の実行委員として多くの活動に携わってきた。なかでも、体育祭では多くのことを学んだ。体育祭は生徒の自主性が重んじられ、運営から実施までをほとんど生徒自身の手で行う。準備段階から三ブロックに分かれて練習するのだが、私は実行委員として、練習時間の調整を担当した。あるブロックがトラック内を使用する時は、他のブロックは隅の方で練習するので、時間を平等に振り分けることに細心の注意を払った。三年次、本番前に雨が続いた。焦りだした各ブロックのリーダー達は、練習時間の延長を要求してきた。実行委員の中でも、どうするのが最善なのかで意見が分かかれ、激論が交わされた。しかし、「何でも許される」中で作る体育祭は、本当に意義があるものなのか、予め設定された枠組み・ルールの中で、最大限のものを作り上げることに意味があるのではないかと私は訴えた。他の委員たちも私の提案に理解を示してくれた。誠意を尽くして各ブロックにも説明し、最終的には従来通りの練習時間で納得してもらった。∴本番が終わったときの感動は今でも忘れられない。

実行委員として学んだこと。ルール(法)は組織や社会を円滑に動かすために必要不可欠だということ。そして、それを生かしていくのは人であるということである。従来から法学に興味を持っていた私だが、行事を通してその思いを強くすることができた。

法を扱うのは大きな責任が伴う。しかし私は、「人の生活をより良くするためにあるのが法である」ということを忘れずに、貴学で学んでいきたいと考える。貴学は、基幹教育セミナーや課題協学科目といった主体的・横断的な学びを全国に先駆けて導入、推進している。その環境を最大限に生かすことで異なる他者との対話を重ねたい。そして、生き方の多様化が進む現代社会において、法が果たすべき役割とはどのようなものが、自分の考えを深めていきたい、これが貴学を志す理由である。

(800字)

## ●志望理由書に必要な要素(右の「例」を書く際意識したこと)

- ※
- ① **アドミッション・ポリシー**を踏まえて、相手に自分を売り込むこと。

※アドミッション・ポリシーとは…受験生に求める「適性」とはどんなものかについて、受け入れ側の考えをまとめた基本的な方針

- ② その「**適性**」を本当に持っていることを、**具体例**で示すこと。

- ③ (可能ならば) その学校(職種)が**いいのだ(ほかではだめだ)**、ということを示すこと。

(雑談)かつて担当していた生徒が、某大の医学部看護学科を受験した際、面接で、「どうして九大じゃなくてウチなの?点数足りなかつたんでしょ?」と言われたことがあります。「その通りです。」と答えたらその瞬間にアウト!でしょう。「貴校は衛生面を考え、全国に先駆けてナースキヤップを廃止したと聞いています。患者のことを第一に考える貴校で学びたい」と答えたらその生徒は、筆記試験の失敗を取り返して大逆転を成し遂げました。